

intertek

news

Vol.90

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 変わりゆくごはんを守るために

02 特集

03 ISO 14001規格改訂情報と移行準備について

～規格改訂の動きから社会的優先課題へ取り組むことで企業価値、持続可能性を高める～

04 News&Topics

- ▶ オブテックス様、社内報「Ripple Workers Index」が奨励賞受賞
- ▶ 審査員会議
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(千代田興業株式会社)
- ▶ 連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
「パフォーマンス評価(3)」

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「新たな“相棒”」
(審査員 千崎 敏雄)
- ▶ 環境とISO 14001
「地球環境問題のこれからを考える」《最終回》

07 お客様からのお便り

- ▶ 「技術で感動を提供するために」
(株式会社社会津技研)
- ▶ 「食品鮮度保持から、ヘルスケア、医療機器開発で世界展開」
(DENBA JAPAN株式会社)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぴく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(株式会社ニチリョー)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>



変わりゆくごはんを守るために

かたやま ともひろ

営業部 東日本エリア 関東地区担当 片山 智裕

私は毎日、ごはんを食べています。朝は軽く、夜はしっかり。忙しい日も、疲れていても、ごはんや旬の野菜が並ぶとほっとします。そんな当たり前が、最近は少し変わってきたように感じます。

近年、お米や青果の価格が変動しています。天候不順などによる品薄の影響など、食卓を彩ってきた農作物の姿が、少しずつ変化しているのです。こうした変化を感じる今こそ、「GAP(ギャップ)認証」や「ISO 22000」をはじめとする食品安全マネジメントシステムへの取り組みが大切になると感じます。

GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)は、農場などの生産者が活用する農場管理の基準です。播種から栽培、収穫、選別、出荷までの各段階で目標を設定し、農作業の点検項目をもとに計画的に取り組めます。これらの検証を次の作業に活かすことで、農場全体の安全性や効率を高めていきます。

このGAPに基づき、一定の基準を満たした農場は「GAP認証」を取得できます。それは、消費者には「安全で信頼できる農産物の証」であり、生産者には「自分たちの農業を守り、次の世代へとつなぐ手段」にもなります。

さらに、GAPは品質や衛生管理のみならず、環境配慮や労働安全、地域社会との関係づくりなど、持続可能な農業の実現に向けた広い視点を持つ取り組みです。農作物を、安定して届け続けるための土台づくりがGAPです。

そして、生産から加工・流通、そして消費者の手元に届くまでのフードチェーン全体で欠かさないのが「ISO 22000(食品安全マネジメントシステムの国際規格)」です。GAPが「農場の安全と持続可能性」を守り、ISO 22000は「食品が消費者に届くまでの安全」を守ります。

また、ISO 22000を基盤にした認証スキームとして「FSSC 22000」もあります。FSSC 22000はISO 22000で要求する食品安全管理に加え、さらにフードディフェンス等も加えた規格です。今まで以上に食の安全・安心・信頼を提供でき、特に輸出や大手顧客との取引を目指す企業にとっては、有力な認証です。

GAPやISO 22000は、単なる“認証”ではありません。それは、食品安全を裏付ける証明であり、新たな市場への扉でもあります。安全性と信頼性を兼ね備えた農作物・食品は、取引先から選ばれやすく、販路拡大やブランド価値向上にも直結します。今の取り組みを確かな形にし、未来のビジネスチャンスへつなげませんか。

認証取得をご検討の際、まずはお気軽にインターテック・サーティフィケーションまでお問い合わせください。